

国立病院機構 福山医療センター レジメン登録・管理表

レジメン名称	胃癌 (初回) Zolbetuximab+XELOX療法	臨床区分	抗癌剤適応分類	登録日	2024年7月3日	
疾患名	胃癌	<input checked="" type="checkbox"/> 日常診療 <input type="checkbox"/> 単施設自主研究 <input type="checkbox"/> 他施設自主研究 <input type="checkbox"/> 市販後臨床研究 <input type="checkbox"/> 治験	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発化学療法 <input type="checkbox"/> 術後化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法 <input type="checkbox"/> 局所療法 <input type="checkbox"/> その他	2026/1/7 改訂		
診療科名	消化器内科			1クール期間	21日	
登録医師名	住井 遼平			実施回数	1/回	
適応	HER2(-)、CLDN18.2(+)の進行再発胃癌					

Rp	薬品名称	標準投与量	単位	投与方法	ルート	投与時間	投与日														注意コメント
							day1	-	-	-	-	-	day14	-	-	-	-	-	-	-	
1	カベシタピン錠300mg		錠	経口			●	→	→	→	→	→	休						備考欄参照		
2	生理食塩液	250	mL	点滴静注	メイン		●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	血管確保用 ※開始から終了までECGモニターを装着すること		
3	生理食塩液 ボラザミン注5mg パロプロセトロン静注用0.75mg デキサメタゾン注射液 6.6mg アロカリス点滴静注235mg	100 2 1 1.5 1	mL 管 管 管 管	点滴静注	側管	30min	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	制吐剤終了後メインルートフラッシュ必要		
4	生理食塩液	50	mL	点滴静注	側管	-	●												ピロイ投与前、ルートフラッシュ用		
5	生理食塩液 注射用水 ピロイ点滴静注用100mg	適宜 適宜 800	mL mL mg/m2	点滴静注	側管	適宜	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	※投与量は体表面積の小數点第一位までで計算し、第二位以下は切り下げること ※希釈後濃度は2mg/mLとなるよう医師・薬剤師で注射用水・生食量を調整すること ※他剤との混合は不可 ※投与開始前まで冷所で保管し、使用前に室温に戻すこと。また投与開始後12時間以内に投与を完了すること ※投与速度に関しては指示簿参照		
7	生理食塩液	50	mL	点滴静注	側管	-	●												ピロイ投与後、ルートフラッシュ用		
8	5%糖液 オキサリプラチン点滴静注液	250 130	mL mg/m2	点滴静注	側管	120min	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	カベシタピンが処方されているか確認すること。		
9																					

備考欄
CLDN18.2が陽性であることを確認すること。ピロイ用の指示簿が入力されていることを確認すること。
制吐剤として投与前日からのオランザピン5mgの併用を考慮すること（糖尿病に禁忌）。
day2以降のデキサメタゾン8mgは別途処方必要。状況に応じてアルプラゾラムの併用可。
カベシタピン 2×(14)MA 内服処方
1.36m2未満 1200mg/回、1.36m2以上1.66m2未満 1500mg/回、

減量・中止基準
[]

文献
Zolbetuximab plus CAPOX in CLDN18.2-positive gastric or gastroesophageal junction adenocarcinoma: The randomized, phase 3 GLOW trial

sheet4にピロイ調製用一覧表あります！